

ポートレートが
語る初期写真

侍と私

The Samurai & I Early Portrait Photographs

東京都写真美術館

恵比寿ガーデンプレイス内

●観覧料＝一般500[400]円／学生400[320]円／中高生・65歳以上250[200]円

※[]内は20名以上の団体料金。東京都写真美術館友の会会員、小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。

●開館時間＝10:00～18:00[木・金は20:00まで] 入館は閉館の30分前まで 月曜日休館[月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館]

●主催＝東京都写真美術館 ●協賛＝凸版印刷株式会社 ●協力＝講談社

2010年5月15日[土]→7月25日[日]

侍と私
The Samurai & I

東京都写真美術館では、当館のコレクションに基づく展覧会「侍と私」を企画いたします。本展では、肖像画は個人を描くものであり、肖像写真はこれが民主化したものであるという視点から初期写真における単身像を多角的に取り上げます。

幕末期の日本では私的なポートレイトのひろがり、明治期における公的な記録の確立へと肖像写真を押し上げました。一方、西欧で長い歴史を持つ肖像画は、一部の人が独占していましたが、写真が発明されると、多くの民衆が肖像写真を求めてスタジオへ向かい、ポートレイトの民主化が写真によって行われたのです。

「日本」、「西欧」、そして、それらの「交差」。本展では、このような日本と西欧のポートレイトによって導かれる初期写真の豊かな世界を写真だけでなく、肖像画、カメラなどさまざまな作品・資料によって紹介します。

時空を超えた19世紀の視線、ぜひ東京都写真美術館でポートレイトの凛とした眼差しに出会ってください。



特別出品《ネイラー夫妻の肖像》制作年不詳／制作年不詳／ミニチュール／横浜市民ギャラリーあざみ野 蔵



特別出品《スザンナ・ネイラー》J・ヴァンネルソン／1850年頃／ダゲレオタイプ／横浜市民ギャラリーあざみ野 蔵



特別出品《フランク・ネイラー》J・ヴァンネルソン／1850年頃／ダゲレオタイプ／横浜市民ギャラリーあざみ野 蔵



特別出品《ベシエール元帥夫人》ロベール・ルフェーヴル／1814年頃／油彩・カンバス／東京富士美術館 蔵



《題不詳《美子皇后像》》内田九一／1872年／銅版紙



《題不詳《野々村忠実像》》チャールズ・ドフォレスト・フレデリックス／1860年／ダゲレオタイプ

ポートレートが
Early Portrait Photographs
語る初期写真



《題不詳《男性像》》撮影者不詳／1840-1860年頃／ダゲレオタイプに手彩色



《題不詳《男性像》》撮影者不詳／1840-1860年頃／ダゲレオタイプに手彩色



《題不詳《女性像》》ミレ／1840-1860年頃／ダゲレオタイプに手彩色



《題不詳《袴をはいた青年像》》撮影者不詳／1872-1882年頃／アンプロタイプ



東京都写真美術館 www.syabi.com

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3

恵比寿ガーデンプレイス内 TEL.03-3280-0099

■JR恵比寿駅改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分。
■当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

表画使用写真
《題不詳《第二回吹越波 甲斐守の河津伊豆守立像》》／ナダール／1864年／銅版紙（後年のプリント）

【担当学芸員によるプロアレクチャー】第2・4金曜日 16時00分から
※本展覧会の半券（当日有効）をお持ちの上、会場入り口にお集まりください。

【展覧会記念講演会】

●「幕末明治の肖像写真」講演＝石黒敬章

（日本写真芸術学会評議員、ゆうもあくらホセ務局長）

日時＝平成22年5月23日（日）14時00分から 場所＝東京都写真美術館 1Fホール

対象＝本展半券をお持ちの方 定員＝190名

受付＝当日10時より当館受付にて整理券を配布します。

【公式ガイドブック】

●「肖像 ポートレイト写真の180年」講談社刊 定価1800円（＋税）

東京都写真美術館ミュージアムショップ ナディア×10にて限定発売中

【展覧会告知】

●「私を見て!」モードのポートレイト7月31日（土）～10月3日（日）

●「20世紀の人間像」すべての写真はポートレイトである10月9日（土）～12月5日（日）